

ヘルスケアミーティング 2023 でお会いしましょう

田中正大 (コアメンバー)

11月3日～4日、ヘルスケアミーティング2023が開催されます。2019年の台風直撃による中止およびその後のコロナ禍により、変則的なかたちでヘルスケアミーティングを開催することはできませんでしたが、今年は満を持してフルスベックでの開催が実現します。

今回は、学会設立25周年の特別なヘルスケアミーティングになります。

1日目のメインテーマは「チェアサイドで実践するカリエスマネジメント」です。

過去2年間、私たちはカリエスマネジメントに焦点を当て、2021年には「人生100年時代のカリエスマネジメント」、2022年には「子どもから高齢者までのカリエスマネジメント」に関する企画を実施し、データ分析の成果や、ICDASを用いた病変の検出、CRASPを用いたカリエスリスク評価の有効性について解説してきました。しかし、これらの知識を理解できても、日々の臨床実践にどう応用すべきかについてはまだ不明瞭な部分があるという声が多く寄せられました。とくに、う蝕病変の活動性を適切に評価し、軽減または停止させるための具体的な方法については、これまで不足していた部分といえるでしょう。そこで、今年は「う蝕病変の活動性評価」に焦点を当てたプログラムを立案しました。

このプログラムでは、杉山精一さんによる導入、景山正登先生の特別講演、わたなべ歯科、宇田川歯科医院の症例発表を通じて、今までのカリエスマネジメントに不足していたもう一つのピースが明らかになるでしょう。

2日目は学会設立25周年企画「四半世紀を経て」です。発足からの98年会員がすこしずつ臨床の第一線から退きつつあり、世代交代の段階に差し掛かっています。午前中には、次世代の若手コアメンバーである古市貴暢さん座長で、「ヘルスケアのDNA」について、前代表（現副代表）杉山さんと新代表の高橋 啓さんに発表していただきます。また、ランチタイムにはスタッフセッションも用意され、午後には学会がこれまで取り組んできた活動、具体的には「歯科衛生士育成プログラム」「禁煙支援」「人生100年時代への対応」に焦点を当て、今後の展望について発表されます。

オンライン参加も受け付けていますが、交流会や懇親会、法人展示イベントなども予定されています。できるだけリアルで参加し、長らく再会できなかった方々と学会仲間として直接会い、有意義な時間を共有しましょう。

詳細については、フライヤー、ニュースレター、抄録、および設立25周年特設ページ（学会ホームページにリンクバナーがあります）をご覧ください。をお勧めします。